

# まちかど

●荏原第一地域新聞●

## 花めぐり

シラー・ペルヴィアナ

花屋の店先から始まった春も、街角に公園にとやって来ました。

写真は、シラー・ペルヴィアナ（ペルヴィアナ）。4月から5月頃に咲く球根植物です。

“S.peruviana”「ペルー産の」という学名から、ペルーと関係があると思われるが、原産地は南ヨーロッパです。

ペルヴィアナは、シラーの中ではやや大型で、草丈は20～40センチほどになります。茎の先端に青紫色の小さな花が傘状にまとまって咲き、黄色いおしべもにぎやかな美しい花です。

花言葉は、「辛抱強さ」、「多感な心」、「変わらない愛」など。昨年、中原公園（小山1丁目）で見られました。

品川区のホームページでは、「まちかど」カラー版も公開していますので、どうぞ鮮やかな花の色をご覧ください。

(小山1丁目町会・河原 マサ江)



雄大な景色を眺めながらみんなで滑走

青少年対策荏原第一地区委員会による冬の企画「荏原第一地区スキーツアー」が2月25日(土)、26日(日)に総勢38名が参加して行われました。例年、日帰りのイベントでしたが、約10年ぶりに宿泊イベントが復活。地区委員のみなさんも力が入りました。ツアー1日目。朝7時に参加者を乗せたバスは武蔵小山を出発。気持ちも一緒に乗せバスは走り出しました。行き先は長野県茅野市にある白樺湖ロイヤルヒルススキー場。ここは、雄大な景色が圧巻のとても広いゲレンデです。

バスの中では荏原第一地区委員会の有名な、ロバートさんによるミニゲームで参加者たちは楽しみました。途中で休憩をはさみ、ホテルへ到着。昼食を済ませ、いざゲレンデに出発。当日は天候にも恵まれ、絶好のスキー日和でした。

お父さん、お母さんと一緒に滑る子や、スクールに入り初めてスキーに触れる子ども、参加者全員がスキーやスノーボードを楽しみました。

日が暮れるまで滑った後はゲレンデからあがり、豪華な晩御飯をいただきました。夕食後は、ナイターと卓球大会に参加する子どもたちに分かれました。ナイターでは、夜景を見ながらの滑走。卓球大会では、地区委員さんも一緒に参加して参加者全員が優勝を目指しました。みんなで宿泊ならではの楽しい夜を過ごしました。

2日目も天候が良く、朝食の後は最後のゲレンデへ。昨日の疲れが全く無いかのように、子どもたちはスキー、スノーボードを楽しんでいました。お昼に終了し、昼食を食べて全日程が無事に終了しました。

今回のスキーツアーでは、参加者の方から「楽しかった」、「次回も参加したい」との声がありました。参加された皆様、ありがとうございました。これからも、荏原第一地区委員会は、子どもたちが笑顔になる楽しいイベントを企画していきます。

(事務局)

10年ぶりの宿泊イベントが復活!

荏原第一地区委員会主催「えびいちスキーツアー」

## わが家のペット

### ～メダカの冬眠～

皆さん知っていましたか?メダカの冬眠。私は初めて見てびっくりしました。家のメダカちゃんは、5年前に、千葉からペットボトルに入れられて5匹でやってきました。その当時は5種類のメダカがいました。3年が寿命だと聞いていましたが、いつも目にするオレンジ色が1匹残りました。

朝、水槽をたたくと、エサと察して水面に踊り出てきます。

ところが、12月の初め頃からほとんど姿を現さず、体も曲がってきていましたので、ついに駄目かと水槽を洗おうとしたら、なんと泥の中から出て来ました。あわてて汲み置きの水を探してメダカを戻しました。

しばらくして、トントントンと水槽をたたきましたが、出て来ません。

もしかしてメダカの冬眠?書店に行って本を見てみました。「冬眠あり」。

頑張って冬を超えて春を迎えてくれればと思っています。

小さな可愛い命に期待。春よ早く来い。

(荏原2丁目町会・奥村淑枝)



## ◎新連載◎

### 駅前再開発

◎武蔵小山駅前周辺の建物の老朽化、街路や広場の拡張等に対応



①「駅前はどう変わる?」

#### ●整備概要

- (1)住宅施設(高層棟・低層棟)
- (2)商業施設
- (3)保育園の整備
- (4)防災備蓄倉庫の整備
- (5)駐輪場・駐車場
- (6)道路の拡幅
- (7)防災活動広場の整備等

#### ●今後のスケジュール予定

- ・図①の地区については、平成29年度から解体工事、施設建築物本体工事着工。
- ・図②については、昨年3月から工事が進行中。

再開発に伴う武蔵小山駅前周辺の解体工事が進み、かつての駅前がどのように変わるのか、地域住民にとっては非常に関心の高い話題です。

そこでこの「まちかど」では、今号から連載で、再開発をめぐる動きを様々な視点から取り上げていく予定です。

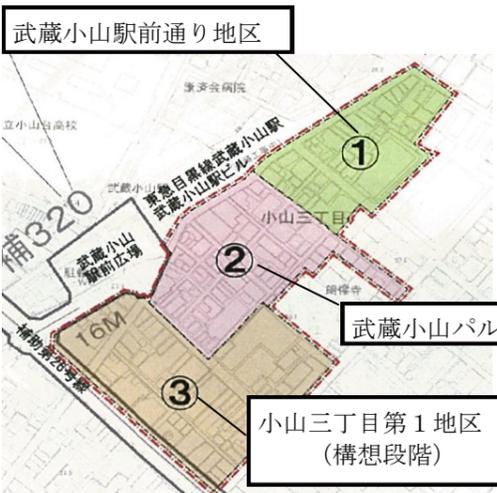
連載1回目は、駅前がどのように変わるのか、全体の概要についてお伝えします。

●再開発の経緯

▽武蔵小山駅前周辺は、道路や広場等の公共施設が不足しており、また老朽化した建物が密集するなど防災性・安全性に課題を有している。

▽地区固有の魅力の一つである商業等の「にぎわい」を強化するまちづくりが求められている。

こうした点から、新しいまちづくりに向けての話合いが進められ、3つの地区に分けて再開発準備組合が設立されました。(区域については、下記図を参照)



参照図：各地区と位置図

(出典：武蔵小山駅前周辺地区開発連絡会ニュース)

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は5月20日(金)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を利用しています。